

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		更生保護事業費 [社会を明るくする運動事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	13	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-3・2-6			
【施策名】 地域福祉の推進・社会福祉の推進								総合計画書(ページ)	38・65			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民				事業参加者延べ人数(啓発チラシ受領者含む) ・主要事業 ・啓発物品の配布 → ・産業まつり ・ミニ集会等 ・青少年の更生保護相談							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
市民に犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深めてもらう。				延べ参加者数/人口R3年3月31日現在 → (R2年度までは4月1日現在)								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
社会を明るくする運動推進委員会を中心に、犯罪のない明るい社会を築くために、社会を明るくする運動を実施した。				市民参加型事業数 ・主要事業 ・産業まつり ・ミニ集会 → ・青少年の更生保護相談 ・啓発物品の配布								
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	3,541	0	2,215						
	成果指標	②の数値	%	4.1	0.0	2.5						
	目標	②の目標値	%	100	100	100						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 社会を明るくする運動における参加者数の割合												
活動指標		③の数値	事業	4	0	1						
3 経費	事業費(実績)		円	180,150	0	35,500		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	180,150	0	35,500						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0							
	職員人件費(再任用以外)		円	1,662,000	1,676,000	1,650,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	1,842,150	1,676,000	1,650,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度									
	(2) 環境の変化 本市においては、主要事業として、中学生の意見発表等を実施しているが、令和3年度については新型コロナのため、主要事業等は中止とした。											

事業名称	更生保護事業費 [社会を明るくする運動事業]			
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係 課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし	
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 特になし	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域福祉の推進・社会福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 特になし	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 現状を維持する中で、事務の簡素化等、改善を図る	